

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和2年6月12日（金）
- 2 開催方法 新型コロナウイルス対策により審議員に審議資料、音声ファイルをお渡しし、回答書によって審議頂く
- 3 出席委員 委員総数 7名  
委員の氏名 松下美奈子(委員長)／古賀源一郎／中川竹治  
／永田章一／横山理恵／野上俊樹／原田竜一

### 4 審議資料

- (1) 報告事項
- (2) 審議用音声ファイル「未来へはばたく皆さんへ」及び放送概要説明書
- (3) みつばちアプリ登録数

### 5 議題

- [1] 報告事項について
- [2] 番組聴取、審議
- [3] その他

### 6 議事の概要

#### [1] 報告事項について

- ・突然のコロナ禍によって、様々な対応が迫られる中、途切れることなく放送を続けて頂き、ありがとうございます。
- ・三密を避ける工夫として、スタジオを分けワンオペによる放送は、各パーソナリティの緊張感が伝わってきて臨場感があった。流石にベテラン組は、そんな状況下にあっても安定した放送ぶり、安心して耳を傾けることができ、好感がもてた。非常事態にこそ、いかに平常心で必要な情報をリスナーに届ける事ができるかは、日々の経験の積み重ねが大きいと思う。
- ・突然に学校や各施設が閉鎖となり、イベントは次々に中止、そんな混乱と不安の中で自粛生活を送る市民にとっては、正確な情報はもとより身近な話題や真心の宿るパーソナリティの語りは、安らぎと希望につながり、笑顔をもたらし、人々の大きな活力にもなったのではないかな。
- ・不慣れなパーソナリティの独りよがりな言動や放送の混乱ぶりも露呈した。今後の課題として、取り組んで欲しい。
- ・新型コロナウイルスに対しては、皆さんがピリピリしている中で、公共放送に携わる者として厳に注意して行動していただきたい。
- ・ソーシャルディスタンスを保ちながら、番組制作は大変だったかと思う。
- ・対策を取られ放送できたことは良かった。
- ・お家時間が多くなったことでリスナーが増えたのではないかな？
- ・普段、昼間学生たちは聴取できないので、学生向けの番組があると良かったのではないかな？

## [2] 番組聴取、審議

- ・卒業式を前に、突然休校となり、子どもたちも保護者も不安が募っている中で、学校の先生方の想いのこもった放送は、とても心に響く内容だった。
- ・それぞれの学校の特色がでていて、先生方の工夫も様々で、最初の放送を聞いた時には、私は胸が熱くなって涙がこぼれた。一市民もそうなのだから、お友達とも先生とも会えない状況の中、子どもたちには、どれほど素晴らしいエールになったことと思われる。
- ・また、積み上げてきた教育課程を突然中断しなければならなかった先生方の悔しさも理解できるだけに、先生方にとっても救いとなったことと思う。
- ・「みつばちラジオ」ならではの、地域に根差した素晴らしい番組だったと思う。
- ・今回の異常事態の中、子供たちも学校へ行けず、友達とも会えない状況で、特に新一年生は楽しみにしていた学校が休校になって、寂しい思いをしていたと思う。そのような中で先生の力強いメッセージを聞き、どれだけうれしく、励みになったと思う。
- ・天草ではオンラインの環境が整っていない中に、タイムリーな企画であった。
- ・今後もどういう状況になるか予断を許さないが、状況に応じ素早く対応をしていただきたい。
- ・可能であれば対象校を増やしてもらえればと思う。
- ・卒業生にとっては嬉しい企画だったと思う。

## [3] その他、ご意見など

- ・「はちラジ金曜日」は、三人のキャラクターが際立つ楽しい番組である。放送禁止のギリギリのところの会話もスリリングで、魅力の一つではある。ただし、今回このコロナ禍に不適切な画像を全世界へつながる Twitter に掲載したのは大いに反省を促すべきである。市民の方がいち早く気が付いて、市へお知らせ下さったから良かったようなものの、画像がリツイートされて全世界へ拡散されたとしたら、「みつばちラジオ」の存続まで議論に上がっていたかも知れない。
- ・何より、今この時も医療現場で緊張感の中、必死で働いていらっしゃる方々の目に留まったら、どんな感情をいだかれるか。
- ・コメントを送って番組を盛り上げてくれるリスナーは、ほんの一握りの人々にすぎまない。ラジオはサイレント・マジョリティが圧倒的に多いという事を、この機会に今一度再認識しておく必要があると思う。
- ・クレームが届いたのは残念だ。対策を十分に行って欲しい。
- ・はちラジは楽しく聴取していたが、人によっては不快に感じる方、捉え方が様々なので配慮が大切だ。一般市民のパーソナリティは親しみやすいと思うが、その反面、素人なので課題である。公共放送に適した言葉や表現を研修する必要がある。
- ・特別番組「地域の宝子どもたちへ」では、退職校長の教育論が長々と語られていましたが、流石に繰り返し流され、何度も聴いているうちに辟易とした。地域の見守り隊などの方々の言葉を集めるのは良い案だったと思うが、今度も同様な番組を企画する場合は、時間を区切り（3分程度とか）、子どもたちへのお説教ではなくモチベーションの上がるような、励ましの言葉を依頼した方が良い。
- ・「教えて街のおまわりさん」は、日ごろ威圧感のある警察官を身近に感じられて、とても好感が持てる。何より、安全な暮らしに役立つ情報が盛り込まれているので、今後も続けて欲しい番組である。

- ・「外国人向けコロナウィルスの呼びかけ放送」はとても新鮮だった。天草に暮らす外国人の方々にとっては、大切な情報で安心に繋がる。日本語訳が入ると、市民にとっては英語の勉強になって、なお良かったかもしれない。

以上。

○審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（7月予定） <http://www.acn-tv.co.jp/>